

(行政視察・政務活動・**議員研修**) 報告書

令和 2年 1月 21日

白石市議会議長 小川 正人 殿

議員氏名 大森 貴之

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	令和 2年 1月 16日 (木) ～ 1月 17日 (金)
調査・研修先	市町村議会議員特別セミナー
調査事項 (研修事項)	・スーパー公務員のチャレンジ・企業とともに発展する行政 ・子供の声がする地方づくり ・防災と危機管理―地方議会の役割と課題
対応者・講師等	・立正大学教授 高野 誠鮮氏 ・神戸国際大学教授 中村 智彦氏 ・関西大学教授 山縣 文治氏 ・明治大学名誉教授 中邨 章氏
概 要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	<p>概 要</p> <p>① 市町村アカデミーにて開催された「市町村議会議員を対象として、今後の市町村運営に役立つ研修」に参加。</p> <p>② 市町村の行財政をめぐる重要課題や議会を取り巻く課題と対応の方向、社会構造の変化を見据えての我が国の政治・経済の動向等について、今回は各分野で活躍されている4人の講師による講演。</p> <p>③ 防災と危機管理の中で、災害発生時の議会の在り方等についての質疑あり。</p> <p>④ 「スーパー公務員のチャレンジ」においては、過疎地域対策において重要なことは、先例にとらわれることなく実行に移し、失敗してもそれを糧として次の行動に進み続けることなのだとして強く感じた。</p> <p>計画は無論重要ではあるが、実行に移せない計画では本末転倒であり、地域住民と一体となって目的達成に向かう行政側の情熱が感じられなければならないことも自身の肝に銘じておきたい。</p> <p>「企業と共に発展する行政」では、山形県川西町の事例を通して地域産業を推進する際の視点を考えさせられた。</p> <p>地場産品を単に売り込むのではなく、相手方とはあくまでも対等な立場で交渉していくために、付加価値を上げなければならないこと。マスコミ等も含めた情報伝達手段の活用においても、取材してもらえらるような、ライン等で拡散してもらえらるような情報発信をしていくことが必要と感じた。</p>



「子供の声がる地方づくり」においては、児童虐待の実態、またその発生要因等について学ばせていただいた。

人口統計の上からも、今後 20 年程度は出生率の増加は厳しいものと思われることも痛感した。そのうえで、行政をはじめ地域社会全体で子育て支援を推進していくためにも、一人一人の意識改革を進め、官民一体の行動に移していけるよう努力していきたい。

「防災と危機管理」では、自助努力の重要性を学んだ。

防災減災対策の上で、「自助 7 割、共助 2 割、公助 1 割」と言われているが、各種アンケートにおいて、自助の必要性は理解しているが実際の行動にはなかなか移されていないことが示された。今後自助の重要性を多くの市民に訴え、防災減災の意識高揚の啓発をしていきたい。

加えて、行政面における対応をより良いものとするため、不具合な点や不足しているものがあれば要求するなど議会としてもより積極的に取り組んでいきたい。

最後に、今回の研修では、取り巻く諸課題に対して、市民の皆様と共々に解決に向けた強い思いを胸に、日々歩いていくことの重要性を再確認してまいりました。